

編修趣意書

1. 編修の趣旨及び留意点

少子化が進むなかで、高校生が「子どもを生み育てることの意義」や「親子関係の大切さ」を実感できることを目標としました。生徒が自ら考え、実践していけることを目指して、内容・構成・表現の充実を図りました。具体的には、以下の点に配慮しました。

2. 編修の基本方針

多くの資料や写真を掲載し、子どもの発育・発達に関する基礎を理解できるよう工夫しています。また、その知識を実践していけるように内容・構成・表現の充実を図りました。学習の始めにライフステージについて扱うことで、自分がかつて子どもだったこと、これから子どもを育てる世代になることが理解できるように工夫しています。これにより、保育に関わる意義が実感できるようになっています。

3. 対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求め、態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関わる科学的な資料を掲載し、さまざまな角度から保育をとらえることができるようにしています。 ・子どもの健康を守るためにどうすればよいのかを考えられるよう、具体的な資料を多く掲載しています。 	28頁コラム、46頁コラム、103頁コラムなど 95頁コラム、99頁表3、108頁コラムなど
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・発育や発達には個人差があることに触れ、その多様性について実感できるよう工夫しています。 ・将来、子どもと触れあう職業に就くことを考慮し、保育士と幼稚園教諭の実際のインタビューや写真を掲載し、学習に対する動機付けとなるようにしました。 	23頁、37頁図2、130頁コラムなど 53頁コラム、111頁コラム、口絵9-10など
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・将来結婚するしない・子どもが欲しい欲しくないに関わらず、保育は重要であることに言及し、これからの保育について考えることができるよう工夫しています。 ・子育ての負担が母親に集中している現状を取り上げることで、男女が協力し、育児を家族・社会が支えていく必要性が学べるようにしました。また、女性が育児をするイメージを与えないよう、イラストの男女比についても偏りが無いよう留意しました。 	口絵1、141頁など 72頁イラスト、122頁、125頁コラムなど
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつの命が産まれることの素晴らしさや神秘性を感じることができるよう、母体内での胎児の様子などにも触れました。 ・子どもが育つ環境の変化に触れ、環境が与える影響の大きさについて考えることができるよう工夫しています。 	24頁「発展学習」、26頁など 14頁表2、87頁コラム、43頁コラム、117頁コラムなど
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くからある、保育にかかわるさまざまな言葉を紹介しています。ことわざや慣用表現などを学ぶことで、言語活動の充実も図ることができます。 ・現代の保育環境だけでなく、かつての保育環境についても多く扱っています。現在と比較するだけでなく、日本独自の保育観についても考えることができるような内容になっています。 	10頁、67頁、141頁等の「調べてみようこの言葉」 20頁コラム、40頁コラム、92頁など

4. 上記の記載事項以外に得に意を用いた点や特色

- ・子どもを「かわいらしい」と感じることができるよう、多くの写真を掲載しています。
- ・口絵に等身大赤ちゃん写真を掲載することで、その大きさや成長を実感できるように工夫しました。
- ・色遣いでは、誰にでも使いやすい教科書を目指して、ユニバーサルデザインカラーを使用しています。